

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	<u>i-Life i-Learn i-Like i-Tell 事業</u> <u>(生坂に暮らし、生坂を学び、生坂を好きになり、そして生坂を伝えていく)</u>
事業主体 (連絡先)	生坂村 生坂村 6002-1 生坂村教育委員会 電話:0263-69-2500 FAX:0263-69-2529
事業区分	3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 114, 410 円 (うち支援金: 835, 000円)

事業内容

村の遺産や歴史、自然環境等について、冊子作成の過程から、地域住民がその存在を知り大切さを学習することで歴史と文化の保護に対する意識の芽生えや自然環境の保全と景観形成を促す。

また、村に伝わる文化的資源や守られてきた自然を巡る見学会、イベントを開催し、その歴史や文化、自然環境などを再認識し、自分達の住む地域への想いや環境整備を一層進め、文化資源や環境の保護と継承につなげる。

そして、これらの取り組みが後世に引き継がれていく切掛けを作っていく。



【図書室での学習】

【目標・ねらい】

- ①郷土学習
- ②自然環境
- ③冊子作成
- ④文化継承

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

郷土学習…村の歴史と文化について、住民自ら資料を探し、集めることで学習、現地見学を行い、向学を深められた。

自然環境…村内の動植物や地形、地質などを学習し、必要な資料などを集めながら現地見学を行うことで、自然環境に対する理解が広がった。

冊子作成…郷土学習や自然環境の学習から得られた資料を基に、手作り感あふれる冊子を編纂し、住民や公共機関へ配布、設置できたことで周知を図ることができた。

文化継承…冊子の配布、設置等により、多くの住民の目に触れた事や冊子を使った学習を行う事で、郷土に対する愛着を生み、文化や環境の継承と保護の切掛けを作ることができた。

※自己評価【B】

【理由】

今回の事業により、目的としていた内容を行う事ができ、その効果があり、今後に期待できるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き、公民館や学校などと協力して、今回の事業を一步として作成した冊子などを活用しながら郷土学習や自然環境などの学習を行い、文化の継承と自然環境の保護や整備の向上を図っていきたい。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある